

経済環境常任委員会・ 都市建設常任委員会 合同研修会報告

平成19年10月29日(月)から30日(火)に、経済環境常任委員会・都市建設常任委員会合同により委員11人が参加し、先進地研修を実施しました。

一日目は、茨城県石岡市役所を訪問し、ゴミの現状と対策について研修を行いました。

「平成17年10月に2市町が合併したため、石岡地区、八郷地区の二つの組合があり、組合の統一は今後の課題です。また、石岡地区では、ゴミ指定袋に集積所の番号と氏名を記入しています。八郷地区では、不法投棄対策として、現業職員を置いています」との説明を受けました。その後、石岡市・小美玉市で構成された霞台厚生施設組合環境センターを視察しました。

二日目は、福島県いわき市役所を訪問し、河川改修工事とまちづくりについて研修を行いました。



霞台厚生施設組合環境センター
視察研修(石岡市)

「市街地を流れる湯本川は集中豪雨で度々氾濫し、平成5年には397戸の床上浸水の被害が発生したため、福島県が事業主体となり、平成14年度から6カ年計画で改修工事を行っています」との説明がありました。また、調節池の利活用計画等の説明を受けた後、湯本川改修工事の現場を視察しました。

現地を視察することにより見聞を広めることができ、有意義な研修になりました。

総務常任委員会・ 文教厚生常任委員会 合同研修会報告

平成19年10月31日(水)から11月1日(木)に総務常任委員会・文教厚生常任委員会合同により委員11名で先進地研修を行いました。

10月31日は、山形県の東置賜郡川西町にある公立置賜総合病院で救急医療センターを併設した病院の建設経緯と運営方法、そしてサテライト病院としての周辺病院の現状について説明を受けました。

建設計画から山形県が積極的に取り組み、建設費や現在の運営費の8割を県が負担しています。また、サテライト病院として周辺病院の経営も順調とは言えず、見直しをする時期がきているのが現状でした。

山形県と千葉県では多少状況は違うが、県主導で計画を進めるといふ千葉県の姿勢と経費負担の検討が必要と再認識をしました。



公立置賜総合病院視察研修

11月1日は、福島県須賀川市で行財政改革への取り組みについて説明を受けました。

須賀川市では、市の業務を細かく分析し効率よく行い、市民に不便をかけないように努めていました。また、市管理施設に指定管理者制度を積極的に取り入れ委託を行うことにより、財政負担の縮小を図っていました。

山武市は、合併後、市直営管理の施設が非常に多いのが現状であり、早期に指定管理者制度へ移行し財政負担の軽減を図る必要もあるのではと感じました。

編集後記

議会だよりも今回で第6号の発行となりました。今年の前半は、4年に一度、16回目の「統一地方選挙」の年でありました。月日の過ぎるのはなんと早いことか！その点、自然界の時間の長さは悠久そのものであると思います。

これから自然との共生、環境問題についてや空港周辺の一体的な発展、街づくりはどうあるべきか。山武市に課せられた大きなテーマでもあると思います。

議会に会派が結成された初の代表質問では、山武市が抱えている問題の中から、子育て支援や環境問題について、財政計画や幹線道路整備計画についてなど、市の将来に関わる重要な質疑応答がされました。

議会だより編集にあたり議員活動など、よりわかりやすい紙面をめざしてまいります。

編集委員

小川 一馬